

学 校 の 沿 革

- 平成２８年 笛川小学校が開校 校歌披露式実施
文部科学省「少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業」指定
校舎改修工事（６月～８月）
スクールバス車庫竣工
- 平成２９年 文部科学省「教育課程特例校」（小学校英語科）市全学校
文部科学省「少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業」指定
山梨県教育委員会「小中連携研究推進校」指定
山梨市教育委員会「山梨市ＩＣＴ教育推進指定校」指定
校務支援ソフトの導入、体育館トイレ改修工事
- 平成３０年 環境大臣表彰受賞「地域環境保全功労者表彰」
五十五インチ大型液晶モニター・スタンド（４台）
プロジェクター・専用台・スクリーン（各１台）設置
市給食センター稼働に伴う給食配膳室改修・プラットフォーム設置
- 平成３１年 山梨県教育委員会「小中連携研究推進校」指定
（令和元年）校舎南側転落防止ネットフェンス修理
校庭遊具（太鼓橋）移設
新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業
- 令和２年度 文部科学省「教育課程特例校」（小学校英語科）市全学校
新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休業（４月９日～５月１日）
文化庁文化芸術による子供育成総合事業 巡回公演鑑賞（１１月）
文部科学省 GIGA スクール構想一人一台端末導入（３月）
- 令和３年度 オリリンピックパラリンピック教育推進事業（５月）
文化芸術劇場 太鼓コンサート実施（６月）
笛川小・中学校運営協議会設置及び運営
校庭外トイレリフォーム工事（１月～２月）
- 令和４年度 乙女高原学習会（９月）
学校ブドウ園収穫体験（９月）
令和吉祥太鼓発表（１０月）
緑の活動発表会 地区代表 優秀賞（１１月）
- 令和５年度 体育館照明ＬＥＤ化工事（７月・１２月）
「生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業」推進校指定
（令和５・６年度）
ＩＣＴ教育環境整備のため大型モニター等寄贈（１月）（笛川小・中学校）

学 校 経 営 の 概 要

- 校訓
「自主自立」
- 学校教育目標
地域に誇りをもち、豊かに自立する子どもの育成
みんなの合い言葉「笛川の子、かしこく なかよく たくましく」
- 教育方針
○地域とともに子どもを育てる教育（コミュニティ・スクール）
○ほめて育てる教育（自己肯定感の育成）
○「わかる・できる」授業をめざす教育（確かな学力）
- めざす子どもの姿
○自ら考え表現し、学び合う子ども 〈かしこく〉＜知＞
○自他の良さを認め、友達を思いやる子ども 〈なかよく〉＜徳＞
○命を大切にし、進んで体を鍛える子ども 〈たくましく〉＜体＞
- めざす学校の姿
日本一の学校 「あいさつ日本一」「なかよし日本一」
○学校に誇りをもち、地域とつながり合う学校
○磨き合う教師集団による教育力のある学校
○子どもに寄り添い、一人ひとりが大切にされる学校
- めざす職員の姿
○子どもに寄り添い、子どもを大切にする職員
○研究・研修に励み、磨き合う職員
○同僚を大切にし、協働して組織対応できる職員
- 学校経営方針
(１) 学校教育指導重点の趣旨を踏まえ、職員共通理解の中で教育目標を具現化する。
(２) 児童の実態や地域に根ざした特色ある教育課程の編成について創意工夫する。
(３) 小中連携強化に積極的に取り組み、指導内容や指導方法について共通理解を深める。
(４) 基礎的・基本的内容の確実な定着のため、個に応じたきめ細かな指導を行う。
(５) 地域とともにあるコミュニティ・スクールとして、家庭、地域と連携し開かれた学校を築く。
(６) 信頼し合い、磨き合い、協力し合う、明るく活気ある職場をつくる。
(７) 笛川小学校としての新しい校風づくりを着実に進める。
(８) 適切な児童理解や一人ひとりの居場所づくりを進め、望ましい集団づくりを進める。

- 学校経営の努力点
(１) 生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、確かな学力を育む指導と評価を行う。
①基礎基本の確実な習得・定着に努め、基礎的・基本的な知識・技能を活用した学習活動を展開する。
②「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業づくりを進める。
③山梨市の方針に則って英語教育を充実させる。
④さわやかタイムを有効活用する。
⑤学習規律を徹底し、児童の実態に即して家庭学習と授業を有機的に結びつける。
⑥授業のめあての提示の仕方を工夫し、「やまなしスタンダード」の確実な実施を図る。
(２) 豊かな心を育成する指導を進める。
①いじめの早期発見・迅速対応に心がけ、適切な児童理解に基づく相談体制を充実させる。
②道德の授業を中心に、全教育活動の機会を捉えて道德の実践力を養い、命を大切にすることを育成する。
③あいさつ運動や花いっぱい運動、清掃・美化活動を充実させる。
④読書活動や歌声活動を通して、豊かな感性を養う。
⑤異年齢縦割集団活動を活性化させる。
⑥学社連携を深め、しなやかな心の育成に向けて、お互いのよさを認め合う活動を進める。
(３) 基本的生活態度の育成と健康安全や体力の向上をめざした取り組みを充実させる。
①保護者と連携しながら基本的生活習慣を定着させる。
②体力づくり一校一実践計画の実施等、日常的な運動習慣を定着させる。
③健康安全計画に基づいた安全指導を着実に行う。
④食に関する指導計画に基づいて、食育を充実させる。
⑤創意ある、工夫された体育的行事を実施する。
(４) 情報教育、ＩＣＴの活用、特別支援教育を充実させる。
①授業において、ＩＣＴ機器を積極的に活用し、情報活用能力や情報機器活用能力と情報モラルを育成する。
②「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成し、特別な支援や配慮が必要な児童の実態を把握しながら、個の特性に配慮した指導を行う。
(５) 安全・安心を基盤とし、家庭や地域に開かれた信頼される学校づくりを進める。

- ①コミュニティ・スクール（学校運営協議会）制度を活用し、学校の課題解決に向けた熟議・協働を進める。
②地域で学ぶ、地域を学ぶ、地域の人々から学ぶ、学習活動を展開する。
③目標、実行、評価、改善のＰＤＣＡサイクルに基づき、適切な評価を確実に行う。
④家庭・地域と連携し、保護者・地域の人々が参加する教育活動を工夫する。
⑤地域の保育園・中学校との交流・連携を積極的に推進する。
⑥実践的な訓練を実施することにより、防災・防犯の意識や能力を高める。
⑦積極的に学校の様子を知らせ、家庭・地域の声を聞く場を設ける。
- 小中連携を推進し、９年間を見通した教育活動を展開する。
①教職員間の連携
・小中連絡会議・小中ブロック交流会等を通して相互理解を深める。
②学びづくり
・合同授業研究会等を通して、授業力向上に向けた取組を進める。
・学び方指導の研究を推進する。
・授業交流を積極的に実施する。
③心づくり
・児童会・生徒会の交流を充実させる。
・中学校での体験活動を通し、中学校の活動への流れを円滑にする。

児童数・家庭数（令和６年５月１日現在）

	１年	２年	３年	４年	５年	６年	合計
男子	11	9 (1)	19 (3)	9 (1)	20 (3)	10 (3)	78 (11)
女子	5	16 (1)	2	10 (1)	15 (2)	10 (1)	58 (5)
合計	16	25	21	19	35	20	136
家庭数	9	8	13	16	33	20	99

（ ）は特別支援学級児童数（内数）

教 職 員 一 覧

職 名	氏 名	担任	校 務 分 掌
校 長	岡 輝彦		学校経営
教 頭	橋本 尚一		学校運営・児童支援・安全管理・学校運営教議会・スクールバス・環境整備
教 諭	檜垣 貴子		教務・教育課程・いきいき人材・初任研指導・理科主任・支援員時間割
教 諭	柳澤 晴子	１年	給食主任・保幼小連携・生活科主任
教 諭	平山 沙織	２年	研究主任（研究指定担当）・算数主任
教 諭	向山 澄	３年	体育主任・道德教育推進教師 エコース学習
教 諭	相澤 拓実	４年	ＩＣＴ情報教育主任 総合的な学習の時間担当
教 諭	鶴田 望	５年	国際理解教育・外国語主任
教 諭	古谷奈都美	６年	児童会主任・緑の少年隊・金銭教育 家庭科主任
教 諭	清水 恵	こだま	特別支援教育コーディネーター主任 国語科主任
教 諭	奥山悠衣香	つつみ	〃特別支援教育コーディネーター 福祉教育担当・社会科主任
教 諭	小林 宏美	ことのね １	特別支援教育コーディネーター 音楽主任
教 諭	橋田 栄	ことのね ２	特別支援教育コーディネーター 生徒指導主任
教 諭	遊免阿吏沙	かがやき	特別支援教育コーディネーター 図工主任
教 諭	永関 亜美	通級指導	通級指導教室
教 諭	辻 磨衣子	専科	英語指導（火・木勤務）山梨小本務
非常勤講師	新谷 雅美	通級指導	通級指導教室（年７００時間）
養護教諭	丸山沙緒里		保健主事・衛生管理（研究指定担当）
事務職員	久保寺章夫		学校事務
司 書	齋藤久美子		司書（月・火・木・金勤務）
用務員	雨宮 社		学校用務
支援員	佐藤 美恵		児童支援 スクールサポートスタッフ（月・水・金勤務）
支援員	小林美奈子		児童支援 スクールサポートスタッフ（火・木勤務）
NLT	デボン・ベイン		英語指導（火・木勤務）笛川中本務
給食配膳補助員	高橋 清美		配膳補助
栄養士	斉藤愛実		給食・食育(水勤務) 給食センター本務
スクールカウンセラー	小泉 里菜		年間５１時間（金勤務）１７日
初任研拠点校指導員	新海 直仁		火勤務 加納岩小本務
初任研後補充	廣瀬みどり		
学力向上支援員	武井美奈子		学習支援（水・木勤務）

校内研究の概要

1 研究主題
「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る授業づくり」
～ICTの活用を通して～

2 主題設定の理由
本校の児童は、学習において、課題に対して興味と関心をもちながら意欲的に学ぼうとする児童が多い。しかし、集中力や持続力、指示の理解、基礎・基本の定着や表現力等には個人差があり、個別の支援を必要とする児童がいる。令和5年度のNRTの結果分析から、知識・理解の確実な定着や学び方を身につけるために、より一層の授業改善の必要があると考える。

学習指導要領において、子供の興味・関心を生かした自主的、主体的な学習が促されるよう工夫することを求めるなど、「個に応じた指導」が重視されている。また、令和6年度山梨県学校教育指導針では、子供主体の授業観の転換を打ち出し、「多様な他者と協働したり、自ら自己調整したりして学習を進めていく『子供主体』の授業への転換が図られることにより、子供一人ひとりの関心・意欲や特性にもとづいた学びを実現すること」及び確かな学力の育成として、「学習指導要領の趣旨を踏まえた、『個別最適な学び』と『協働的な学び』を一体的に充実し、『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善及び評価に取り組み、新しい時代に必要となる資質・能力の育成に努める」ことを掲げている。先述した学校課題や、これらの社会的な要請に鑑みて本研究主題を設定した。

本校は、日本学校歯科医会より令和5・6年度「生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業」の研究指定を受け、研究に取り組んでいる。昨年度は、研究主題「歯・口の健康づくりのために、主体的に考え、行動する児童の育成」～プログラミング的思考の活用を通して～」として研究を進めてきた。すべての子供たちが健康で豊かな生活を送るため、その重要性や順序性を論理的に考え、実践につなげることができるよう指導内容の工夫と学習環境の整備に取り組んだ。児童の主体的な活動の場として児童会活動や委員会活動で積極的に取り組み、「歯と口の健康づくり」についての意識が高まった。今年度は、これまでの取組を精査するとともに、日常化を図ることをめざしている。また、2年の研究のまとめとして研究授業を行い、ICTを活用しながら個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る授業について研究を進めていきたいと考える。

3 研究の具体的内容と方法
(1) 研究の内容

- ・「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」にかかわる授業構想について(理論研究)
- ・WEBQUアンケートやNRT検査の実施・結果分析から自校の現状や課題を把握する。
- ・授業実践を通して、研究の成果と課題を明らかにし、今後の指導に生かす。

(2)研究の方法

- ・講師、指導主事を招聘しての学習会
- ・授業研究及び研究会
- ・研究授業
- ・一人一実践の参観

年間の主な行事

4月	入学式 新任式 始業式 健康診断 授業参観・PTA総会・学年部会 個別懇談 1年生を迎える会	10月	秋季大運動会 東山梨音楽発表会(4年生)
5月	避難訓練 児童会総会 東山陸上記録会 新体力テスト	11月	校内持久走大会 避難訓練 PTA文化部主催行事 こどもまつり
6月	修学旅行(6年生) プール開き 学校創立記念日(3日) 土曜参観・親子クリーンアクション	12月	個別懇談 2学期終業式 冬季休業
7月	1学期終業式 夏季休業 県外学習(5年)市水泳記録会	1月	3学期始業式 校内書き初め大会 児童会役員選挙 新入生保護者説明会 授業参観 学年部会
8月	2学期始業式	2月	児童会総会 スキー教室(5・6年生)
9月	避難訓練(小中合同引き渡し訓練) 自然教室(5年)	3月	6年生を送る会 卒業式 修了式 離任式

※体力アップタイム(中休み) ※音楽集会(年間3回:中休み)

日課表(*ノーチャイム)

日課時刻表 R6 笛川小学校

山梨市立笛川小学校

児童登校	通常日課	教協日課(主に水曜日)	半日日課(13:45下校)
	8:20		
さわやかタイム 朝の会	8:20~8:40		
1校時	8:40~9:25		8:40~9:25
2校時	9:30~10:15		9:30~10:15
中休み	10:15~10:35		10:15~10:35
3校時	10:40~11:25		10:40~11:25
4校時	11:30~12:15		11:30~12:15
給食 歯みがき 自学スタンバイ	12:15~1:05 1:00~1:05(歯みがき) 1:05~1:15(自学スタンバイ)		
そうじ	1:15~1:30		
昼休み	1:30~1:45		
5校時	1:50~2:35	1:30~2:15	
6校時	2:40~3:25		
帰りの会	3:25~3:35	2:15~2:25	1:15~1:25
児童下校	4:00	2:40	1:45

3階

校舎・教室配置

トイレ						
音楽室	家庭科 室	図工室	5年	こだま	6年	こどのね 2

2階

トイレ						
理科室	図書室	放送 室	3年	こどのね1	4年	通級

1階

		トイレ						配膳室			
保健室											
	校長室	職員室	玄関	つつみ	か が や き	1 年	2 年	会議室			



令和6年度
学校要覧



笛川小学校校歌

作詞・作曲 林 久悦
林 由恭

一 琴の音きこえる テンテケきこえる
やさしい音色 こぼれる笑顔
紫そよぐ丘の風
葡萄坂を駆け抜ける
ひとりひとりが 希望の一粒だ 笛川小学校

二 鼓がはずむ タン-tonはずむ
大地に響く ぼくらの足音
大きな鶴が 羽ばたいて
教えてくれた 道を行こう
ひとりひとりが 勇気の一粒だ 笛川小学校

三 笛の音流れる ピーヒャラ流れる
溪声 交わる ふるさとのハーモニー
足並みそろえて 意気高く
富士を越えて こだます
ひとりひとりが 輝く一粒だ 笛川小学校
みんな集まれば たわなに実る 一房だ
未来へ届け 笛川小学校

山梨市立笛川小学校

〒404-0013 山梨市牧丘町窪平 1200 (本校)
TEL 0553-35-2015
FAX 0553-35-3292
E-mail tekisen-e@es-jhs.kai.ed.jp

〒404-0001 山梨市牧丘町柳平 43 (分校・休校)